

昭和52年度

学 習 便 覧

熊 本 女 子 大 学

## はじめに

新入生の学習の便に供するため、学生便覧に掲載されたもののうちから学習関係の要点を抜粋し、解説し、あわせて講義要項をまとめたのが学習便覧である。在学中は大切に保存し、熟読理解しておくことが望ましい。この冊子には、本学が開設している一般教育、外国語、保健体育、専門教育の各科目、教職科目などの紹介や、その履修方法など、学習計画をたてるためにならざるを得ないことが記載されている。

授業科目は、必修科目のほか、多くの選択科目があるがそのすべてを4年間に学習することは、時間的にもむづかしいので、各人がそれぞれ、自分の目標や希望に適した綿密な学習計画をたて選択科目を定める必要がある。

わからないことがあればいつでも教務課や、科目担当の教員に遠慮なく相談してよく調べ、よく考えてまとまりのある計画をたて、充実した大学生活を送られることを希望する。

## 目 次

I 学 年 暦 (昭和52年度) .....	4
II 教育課程と履修方法 .....	6
1 授 業 科 目 .....	6
2 単 位 について .....	6
(1) 単 位 制 .....	6
(2) 単位の種類 .....	7
(3) 単位算定の基準 .....	7
3 卒 業 の 要 件 .....	7
(1) 在学期間 .....	8
(2) 履修単位 .....	8
4 履 修 方 法 .....	8
(1) 学期区分 .....	8
(2) 履修の順序 .....	8
(3) 授業時間割 .....	9
5 履 修 手 続 .....	9
(1) 履修科目の決定 .....	9
(2) 履修科目の登録 .....	9
(3) 履修の要件 .....	10
(4) 履修取消し .....	10
6 試 験 .....	11
(1) 試験の種類 .....	11
(2) 受験の心得 .....	12
(3) 成績評価 .....	12

7 教員の免許について .....	12
(1) 免許状の種類・教科 .....	12
(2) 基礎資格および最低修得単位数 .....	13
ア 教科に関する専門科目の単位の修得方法 .....	13
イ 教職に関する専門科目の単位の修得方法 .....	15
8 栄養士の免許について .....	15
9 生活改良普及員資格試験受験資格について .....	16
10 卒業論文履修基準について .....	17
11 教育実習履修基準について .....	18
III 諸 手 続 .....	19
1 欠席届について .....	19
2 休学・退学について .....	19
3 教員免許および栄養士免許申請について .....	20
4 各種証明書の発行について .....	20
5 願出・届出の提出先について .....	20
IV 講 義 要 項 .....	21 ~ 34
(付表) 諸手続書類一覧表 .....	35

I 昭和52年度学年暦

昭和52年 4月	1日	金	学年開始、前期開始
	12日	火	新入生登校日
	13日	水	入学式
	14日	木	2年～4年オリエンテーション
	14日	木	} 新入生オリエンテーション
	15日	金	
	16日	土	授業開始
	16～22日	土～金	履修科目指定登録期間
	30日	土	自宅研修
5月	2日	月	開学記念日
	4日	水	自宅研修
	中		定期健康診断
	中		体育祭
6月	6日	月	} 教育実習(4年)
	18日	土	
7月	11日	月	夏期休業開始
9月	10日	土	夏期休業終了
	12日	月	授業再開
10月	7日	金	} 前期試験
	14日	金	
	15日	土	} 自宅研修
	21日	金	
	22日	土	後期授業開始
	22～28日	土～金	後期履修科目登録期間

11月	中		学園祭
12月	25日	日	冬季休業開始
1月	10日	火	冬期休業終了
	11日	水	授業再開
	"	水	卒業論文提出締切日(家政・国 午後4時30分迄 文・英文)
	25～31日	水～火	4年次後期試験
2月	1～10日	水～金	入学願書受付
	10日	金	卒業論文提出締切日(食物学科) 午後4時30分まで
	24日	金	} 3年以下後期試験
3月	6日	月	
3月	10日	金	卒業式
	7～24日	火～金	自宅研修
	22～23日	水～木	入学試験
	25日	土	春季休業

注・・・・・・・・・・予定であるから変更されることがある。

## II 教育課程と履修方法

### 1. 授業科目

設定してある授業科目は、つぎの種類に大別される。

#### (1) 一般教育科目

一般教育科目は人文分野、社会分野、自然分野、の3分野からなり、本学では、この一般教育を重視し、多くの科目を用意している。また、2以上の分野の内容を総合した総合科目も開設している。

#### (2) 外国語科

本学が開設している外国語科目は英語、ドイツ語、フランス語の3か国語で、英語を第1外国語として必修、ドイツ語およびフランス語を第2外国語とし、そのいずれかを選択して必修することになっている。

#### (3) 保健体育科目

保健体育科目は講義(理論)と実技であり、必修科目である。

#### (4) 専門教育科目

本学は、女子大学としての目的使命にかんがみ、必修科目のほか、主要科目が選択科目としても多く開講されているから、学習計画をたてるにあたっては十分注意し、担当教員から適切な指導を受けること。なお、卒業論文は必修として課せられる。

#### (5) 教職専門科目

卒業の要件のほかに、教職に関する専門科目を履修すれば、教員免許状が授与される。(教員免許状取得についてはP12参照)

### 2. 単位について

#### (1) 単位制

単位制というのは、授業科目ごとに単位数が定まっており、その一定数の単位の取得をもって学士号取得(卒業)の要件とする制度である。従って、

この制度では履修年次とは無関係に単位を取得できるのが本来のたてまえであるが、ある種の授業科目はこれを低年次で履修しておかないと高年次になってから困ることが実際におこるので、本学では単位制のたてまえをとりながらも、標準履修課程を示し、これに沿って履修すれば学習効果があがるように配慮してある。

#### (2) 単位の種類

単位には、必ず履修しなければならない必修単位と、自分の進路を考慮したうえで選択して履修できる選択単位がある。必修科目に指定されている科目の単位を取得できないものが1科目でもありと卒業できない。

#### (3) 単位算定の基準

各授業科目の1単位とは、教室および教室外(図書館、自宅など)における学習で、合計45時間に対して与えられるもので、つぎの基準によって算定される。

区 分	授業時間	自習時間	計	備 考
講 義	15	30	45	各授業科目の授業は、15週を単位として行う(前期と後期)、但し教育上特別に必要があると認められる場合はこの限りでない。
演 習	30	15	45	
実験・実習	45	0	45	

しかし、本学では一般に90分(単位積算上は2時間)を、時間割の1時間(1コマ)として行われているから、原則として通年30週の講義では4単位、演習では2単位となる。また、実験・実習はすべて実験室または実習室でなされるものであり、時間割を2コマ(積算単位を3時間)として行い通年30週で2単位となる。

### 3. 卒業の要件

#### (1) 在学期間

4年以上(休学期間を除く。)在学しなければならない。ただし、8年をこえて在学することはできないことになっている。

(2) 履修単位

学則第17条に定められた次表の単位以上をそれぞれ履修しなければならない。

一般教育科目				外国語科目		保健体育 科目	専門教育 科目	合計
人文	社会	自然	撰択	英語	独語又は仏語			
単位 8	単位 8	単位 8	単位 12	単位 8	単位 8	単位 4	単位 76	単位 132

ア 一般教育科目は人文、社会および自然の分野に、それぞれ8単位を含め合計36単位が必要である。36単位のうち12単位は、3分野(総合科目を含む。)から随意選択できる。(50年度入学生から適用)

1. 教職に関する専門科目の単位は、卒業の要件には算入されない。

4. 履修方法

(1) 学期区分

学年を分けてつぎの2学期とする。

前期 4月1日から10月20日まで

後期 10月21日から3月31日まで

(2) 履修の順序

単位制のたてまえからすれば、どの科目を先に履修するかは、自由である。しかし、多くの科目は順を追って履修しないと理解し難いので、学習効果をあげようとするれば、履修の順序の大すじがおのずから定まる。

履修年次	標準履修課程(132単位)		
4年次			卒業論文
3年次	専門教育科目 (76単位)		
2年次		(4単位) 体育	外国語 (16単位)
1年次	一般 教育科目(36単位)		

(3) 授業時間割

授業時間割表は、前期と後期に分けて発表される。学生各自は、この中から選択して、自分の時間割を編成しなければならない。

午前	1時限	9:00 ~ 10:30	授業科目によっては、夏冬の休業期間等を利用して、集中的に授業を行うことがある。
	2時限	10:40 ~ 12:10	
午後	3時限	12:50 ~ 14:20	
	4時限	14:30 ~ 16:00	
	5時限	実験・実習……16:45終了	

5. 履修手続

(1) 履修科目の決定

この便覧ならびに学生便覧にでている各学科の「教育課程」「履修方法」「教育職員免許状について」「講義要項」などをよく研究し、授業時間割と照合して、各自の履修科目を決定すること。

(2) 履修科目の登録

履修申請は「履修届」および「受講カード」によって行う。

ア 履修届

決定した履修科目を、別に配布する履修届用紙に記入し、前期、後期それぞれ授業開始の日から1週間以内に教務課に提出し、登録しなければならない。

履修届は、どの科目を履修するか意志表示である。従って、必修、選択を問わず履修を希望するすべての科目について行なわねばならない。この履修届をしないで、講義などに出席しても、試験を受けることは勿論、単位も与えられないから注意すること。

#### イ 受講カード

受講カードは、各学科別に色分けされている。

履修しようとする授業科目の最初の授業時間（後期に開講される場合は後期の始め）に出席し、各自カードを切離し、直接その授業科目を担当する教員に提出すること。

#### (3) 履修の要件

ア 学科目の講義が2期にわたる場合は、1期の講義を履修しないで残余の講義を履修することはできない。

イ 授業時間割の同一時限には、2科目以上の重複履修は認めない。

ウ 学生は、担当教員の許可を受けて、所属しない学科の授業科目（実験・実習を除く。）を履修し、単位を取得することができる。

ただし、当該科目が、所属学科において休講の場合に限り修得した単位は卒業に必要な単位数に算入する。

エ 第2年次までの修得単位数が、外国語科目10単位を含めて合計40単位以上を修得しなければ、第3年次以上に開設の授業科目を履修することができない。

#### (4) 履修取消し

学生は、届け出た履修希望科目の履修を取り止めたいときは、その学科目を遅滞なく教務課に届け出なければならない。（履修取消届）

## 6. 試験

### (1) 試験の種類

各授業科目の試験には、定期試験、臨時試験、追試験および再試験がある。

ア 定期試験・・・前期、後期の各期末に、つぎの要件を満たした者について行なわれる。ただし、1年をこえて連続する科目については、学年の終わりに行なわれることもある。

（ア）履修科目を登録していること。

（イ）規定授業時数の $\frac{3}{5}$ 以上（1単位について講義10時間、演習20時間、実験実習30時間以上）出席していること。

イ 臨時試験・・・集中講義科目またはその他の科目について、定期試験以外の時期に行なう試験をいう。

ウ 追試験・・・つぎに掲げる事由により、定期試験に欠席した者で、定期試験の当該科目試験終了の日から10日以内に科目担当者の許可を得て、追試験許可願を教務課に提出したのに対して行なわれる。

（ア）本人が病気の時。

（イ）就職試験と重なったとき。

（ウ）交通機関に事故があったとき。

（エ）その他やむを得ない事由があると認められたとき。

エ 再試験・・・定期試験または追試験の成績が不合格の科目について、科目担当者が特に再試験を承認した場合に限り行なわれる。再試験の受験を認められたものは、再試験許可願を前期の場合11月10日まで、後期の場合4月中旬まで教務課に提出しなければならない。

## (2) 受験の心得

受験の際は、必ず学生証を持参し、机上に提示しておかねばならない。

## (3) 成績評価

ア 授業科目の履修期間が修了したときに、平素の出席状況、研究状態および試験成績などを総合判定して、つぎの4段階に評価される。

追加試験の成績は、得点の90%以下とし、再試験の成績は、最高成績を合格最低成績60点として認定する。

優	100点～80点	合格
良	79点～70点	
可	69点～60点	
不可	59点以下	不合格

イ 優・良および可の評価を得たものには、その科目所定の単位が認定され学籍簿に記載される。不合格となった科目は、翌年度あらためて履修届をして、再び履修しなければならない。

ウ 学業成績は掲示する。学生は各自が受験科目と照合し、履修科目と取得単位数をは握しておくこと。

## 7. 教員の免許について

卒業の要件である履修単位のほかに、教職課程科目を履修することによって教員免許状が得られる。

### (1) 免許状の種類・教科

家政学科	…… 中学1級・高校2級免許状	家庭
食物学科	…… “ “	“
国文学科	…… “ “	国語
英文学科	…… “ “	外国語(英語)

## (2) 基礎資格および最低取得単位数

基礎資格	専門科目			
	教科に関するもの			教職に関するもの
	家庭	国語	英語	
学士号を有すること	単位 40	単位 32	単位 32	単位 14

### ア 教科に関する専門科目の単位の修得方法

教育職員免許法施行規則により、免許教科の種類に応じて取得すべき単位数が上表のとおり定められ、それぞれ履修科目が指定されている。

この中には、本学の卒業要件としての必修科目と重複しているものがあり、これは必然的に履修することになるので、学則上の必修科目以外に次の科目を修得しなければならない。

法令による指定科目は、学生便覧57頁に掲載されているが、これを本学の授業科目に引きなおし、さらに中学・高校のいずれの免許の場合にも共通できるようにまとめたものである。



学 科	免許教科	授 業 科 目	単 位 数
家政学科	家 庭	家庭機械及び家庭電気	4
		製図及び家庭工作	1
		育 児 学	2
		食 品 学 概 論 又は食物学概論	2
		(計)	(9)
食物学科	家 庭	家 族 関 係 論	2
		育 児 学	2
		家庭機械及び家庭電気	2
		製図及び家庭工作	1
		住 居 学	2
		被 服 学 概 論	2
		被 服 材 科 学	2
		被服構成学実習(1)	2
		食 品 材 料 学	2
(計)	(17)		
国文学科	国 語	音 声 言 語	2
		文 章 表 現	2
		書 道	2
		(計)	(6)
英文学科	英 語	英 語 学 概 論	4
(計)	(4)		

#### イ 教職に関する専門科目の単位の修得方法

この科目は、各教科共通で、次の15単位が必修である。このほかに選択科目も開講しているので、随意修得できる。

授 業 科 目	単 位 数	備 考
教 育 原 理	4	教科教育法は、受けようとする免許教科ごとに修得しなければならない。
教 育 心 理 学	2	
青 年 心 理 学	2	
教 科 教 育 法	3	
道 道 教 育 の 研 究	2	
教 育 実 習	2	
(計)	(15)	

#### 8. 栄養士の免許について

食物学科は、栄養士養成施設になっている。栄養士の免許を取得するためには学則上の必修科目以外に、次の専門科目を必修しなければならない。

授 業 科 目	単 位 数	授 業 科 目	単 位 数
栄 養 学 総 論	2	栄 養 指 導 理 論	4
特 殊 栄 養 学	2	栄 養 指 導 実 習(1)	1
公 衆 栄 養	2	” (2)	4
食 品 材 科 学	2	食 糧 経 済	2
食 品 加 工 貯 蔵 学	4	社 会 福 祉	2
食 品 加 工 貯 蔵 学 実 験	1		
応 用 微 生 物 学	2	(計)	(28)

(注) 卒業の時点で、規定単位数を履修していなければ、栄養士免許の取得資格は与えられない。

9. 生活改良普及員資格試験受験資格について

家政学科・食物学科の学生は、学則上の必修科目以外に、次の専門科目を履修しておくことによって、受験資格が有利となる。(受験科目が6科目中3科目となる。)

学 科	授 業 科 目	単 位 数	備 考
家政学科	食 品 加 工 貯 蔵	4	
	育 児 学	2	( 教 職 関 連 )
	食物学概論若しくは 食 品 学 概 論 又は食品、栄養学関係	2	(     "     )
	被服構成学実習 (1) 又は実習 (2)	2	
	( 計 )	( 1 0 )	
食物学科	家 族 関 係	2	( 教 職 関 連 )
	住 居 学	4	(     "     )
	被 服 学 概 論	2	(     "     )
	被 服 材 料 学	2	(     "     )
	被服構成学実習 (1)	2	(     "     )
	"       (2)	2	
	家 庭 管 理 学	2	
家 政 学 原 論	2		
( 計 )	( 1 8 )		

ア 教職課程の教科に関連する科目と重なるので、教職課程の履修者は次のとおり追加して履修するとよい。

家政学科……食品加工貯蔵4単位、被服構成学実習2単位  
食物学科……家政学原論、被服構成学実習(2)、家庭管理学

イ 住居学は、4単位が必要である。

10 卒業論文取扱いに関する内規について

(履修基準)

- (1) 卒業論文履修資格は卒業予定年次の前年度末において、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目および専門教育科目にわたって合計95単位以上を修得し学年末に卒業見込の者に与えられる。
- (2) なお、外国語科目および保健体育科目の必修科目を修得していなければならぬ。  
そのほか、既が開講された専門科目の必修科目のうち2科目以上の未修得科目があってはならない。
- (3) ただし、病気その他やむを得ない理由により追試験を受験した者の単位認定の時期は4月30日までとする。

(提出)

- (1) 卒業論文を提出する者はその年度の5月末日までに指導教員の許可を得、学科主任を経て履修届を教務課に届けねばならない。
- (2) 卒業論文は、家政学科、国文学科、英文学科は1月11日、食物学科は2月10日午後4時30分までに教務課に提出せねばならない。  
ただし、当日が休業日の場合はその翌日の指定時刻、土曜日の場合は正午までとする。
- (3) 卒業論文の受付は締切日の1週間前から開始する。

(保管)

- ㉠ 卒業論文は審査開始まで教務課で保管する。
- ㉡ 卒業論文は教務課の係が各審査員と直接授受するものとする。
- ㉢ 審査終了後は当分の間当該学科研究室で保管する。

#### ( 審 査 )

- (1) 審査員は指導教員を主審とし、その学科の教員1名以上をもって審査する。
- (2) 必要のある場合は他の学科の教員をもってこれにあてることができる。
- (3) 審査にあつては提出者に試問することができる。

#### ( 成 績 )

- (1) 評点は優(100~80)・良(79~70)・可(69~60)とし、不可(59以下)は不合格とする。
- (2) 論文審査の成績は指導教員が学科主任を経て2月中旬までに教務課に提出する。

#### 1. 教育実習履修基準について

- (1) 教育実習履修資格は、卒業予定年次の前年度末において、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目および教職課程科目にわたって、合計100単位以上を修得し、教育実習実施学年末に卒業見込みの者に与えられる。
- (2) なお、外国語科目および保健体育科目の必修科目、開講された教職課程科目の必修科目を修得していなければならない。  
そのほか、既に開講された専門科目の必修科目のうち2科目以上の未修得科目があつてはならない。
- (3) ただし、病気その他やむを得ない理由により追試験を受験したものの単位認定の時期は、4月30日までとする。

### Ⅲ 諸手続について

#### 1. 欠席届について

疾病その他やむを得ない事由により欠席したときは、1週間以内にその事由を具し、教務課を経て学長に届け出ること。(用紙は教務課で交付する。)

- (1) 疾病の為、欠席7日以上にわたるときは、前項の届書に医師の診断書を添付すること。
- (2) 諸会合、集会、運動競技、放送、演劇、音楽会等に本学を代表し、学長の承認を得て出席参加する場合、その他学長が適当と認めた場合は出席扱い(公欠)とする。  
ア 公欠届用紙は、教務課で交付する。  
イ この場合、出席参加の「許可願」を学生課に提出し事前にその許可を受けたものであること。  
ウ 公欠届は、当該授業担当教員の認印を受けたのち、教務課に提出すること。(忌引届の場合も同じ。)
- (3) 忌引は次のとおりとする。

父母配偶者子供	7日	祖父母兄弟姉妹	3日
---------	----	---------	----

#### 2. 休学、退学について

- (1) 疾病その他の事由により休学又は退学しようとする者は、医師の診断書又は事由書を添え、保証人連署をもって願出で学長の許可を受けること。
- (2) 休学者が復学しようとするときは、期間満了の1カ月前までに保証人連署の復学願を教務課に提出しなければならない。病気のため休学した者が復学する場合には、診断書を添付すること。
- (3) 復学の時期は、学年又は学期の始めがのぞましい。

### 3. 教員免許および栄養士免許申請について

所定の科目を必修し、所定の単位を取得した者は、それぞれ所轄庁に免許申請の手続きをしなければならないので、卒業できる年次の後期にその準備が必要である。

教員免許の場合、教務課において便宜上一括して授与願を提出するよう取り扱っている。また、栄養士の免許申請は、各人が直接住所地の保健所に提出しなければならないので教務課から関係書類を交付する。

なお、例年4年次の後期に説明会を催し、細部にわたる指導をしている。

### 4. 各種証明書の発行について

(1) 卒業生または在学生在が卒業(卒業見込み)証明書、成績証明書、在学証明書等を必要とする場合は申込書に記入のうえ教務課に申込むこと。

なお、卒業生は県条例により、証明証1通につき100円を要する。

また、成績証明書等作成には時間を要するので、1～2日前に申し込んでおくこと。

(2) 通学証明書、旅客運賃割引証等を必要とする者は、学生課においてそれぞれの発行台帳に記入し、身分証明書を提示して請求すること。

### 5. 願出、届出の提出先について

願出、届出の手続き先は、付表(35頁)を参考として所管課に提出すること。

## IV 講義要項

### 一般教育科目

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
(人文分野) 哲学	家・食	佐藤	現代哲学における、方法論、認識論の検討から始めて、古来からの哲学の主要問題に分析を加え、その現代的解決について考えてみる。 書名 哲学の基礎 著者名 沢田 允茂 発行所 有信堂 価格
"	文	佐藤	西洋哲学史を概観することによつて、哲学的問題、思考方法について理解を深めることを目指す。 書名 西洋哲学史の基礎知識 著者名 生松 敬三、伊東 俊太郎他2名 発行所 有斐閣 価格 1,400円
倫理学 論理学	全 全	常葉 佐藤	2年次開講 近代論理学の基礎をなしている、命題計算と述語計算についての有効な知識を身につけることを目指す。併せて一般的に論理的思考力を養い、その意味について考察する。 書名 論理学初歩 著者名 E、J、レモン 発行所 世界思想社 価格 1,800円

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
心理学 美学及美術史 文学	全 全 全	篠崎 江上 元吉	2年次開講  先ず、個人の日常的な読書体験と表現行為について問い直し、その本質をなすものは何か、を考え、それを軸に、人間の存在が不可避的に生み出してきた、無限の拡がりと深さを持つ文学現象の一端に（近代及び現代文学の作品—特に国別に限定しない—を主たる対象に）具体的に触れ、それらを理解し評価する方法について考察しながら、文学とは何か、現代における文学の問題とは何か、を明らかにしていきたい。
音楽	全	池田	学生の中学校、高等学校を通じての音楽経験の多少を考慮し、目標を理解、鑑賞および表現の三つに大別して、行なう。  書名 学生のための音楽史と鑑賞 著者名 市川 都志春・滝本 泰三 発行所 教育芸術社 価格 300円
(社会分野) 法学(1)	全	生野	前半分は現代社会における法を近代初期の市民法の変様という視点から、法のあらゆる分野で、その変様がどのように発現しているかを中心に考察する。後半分は憲法を中心に主権者としての国民の立場から憲法をどうとらえるべきかを考えたい。
法学(2)	全	生野	主として市民生活に即した面から法的現象、

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
社会学	全	仲村	法的問題を通じて、法とは何か、法の適用、法の解釈など法学の基本概念を通じて法学的思考方法を体得させたい。  なお、法学(1)、(2)とも担当者で受講生等を制限することがある。  社会学は社会が人間にとってどういう意味をもつかを考える学問である。根本的には、各人が生きる社会での経験がものを云うが、講義は経験がより深く、充実したものになるための介添えになるか、と思う。  現代社会学の諸流派や歴史にも触れるが、できるだけ具体的な社会的諸問題を中心に、聴講者諸君の日常社会生活と遊離しない形で社会学的な"物の見方"、"経験の仕方"を話してゆきたい。  社会学を暗記の学問としてではなく、社会的な存在としての各人の自己反省の手段として、積極的な意欲と関心をもって、講義にのぞまれるよう期待する。  書名 社会学を学ぶ人のために 著者名 仲村 祥一編 発行所 世界思想社 価格 1,300円
経済学 歴史学	全 全	渡辺 斉藤	2年次開講  歴史学とはどのような学問であるか、について、ランケ、マルクス、ヴェーバーの歴史観を通して理論的に検討する。さらに、日本における西洋史研究の動向、その課題をさぐ

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
教育学 家政学 政治学	全	上河	る。 書名なし 2年次開講 } 本年休講
(自然分野) 数学	国・英	城島	集合論、線型代数、ORの手法の紹介。電子計算機の話しと計算実習。 書名未定
"	家・食	"	解析学初歩、線型代数の紹介。電子計算機の話しと計算実習。 書名未定
物理学	全	大津	物理学がどのようにして自然現象を説明するかを概観し、自然探究の態度を学びとると共に、実生活への応用について考えることを目的とする。その為にはなるべく多くの物理的現象をあげ、また初等的な数学を用いて物理的概念を把握しながら、一方、生活の智恵へと思考をみぐらす。そして話は次第にミクロの世界へと移ってゆく。 書名 改版 大学の物理学 著者名 大学自然科学教育研究会 発行所 東京教学社 価格 1,200円也
化学	家・食	飯尾	自然現象や身近な生活において見られる変化をとらえそれが物質系のどのような化学的变化にもとづくものであるかを考察すること

授業科目	学科	担当者	授業の内容計画
化学	国・英	太田	によって科学的思考法を身につけることを目的とする。 書名 今日の化学 著者名 伊勢村 寿三 発行所 啓林館 価格 1,200円 基礎化学を興味ある最新の理論や話題を織り込みながら、特に衣・食・住の化学に力点をおき、科学的な思考方法を理解することを目的とする。 書名 生活の化学 著者名 生活の化学研究会 発行所 化学同人 価格 1,350円
生物学	全	林	最近の生物科学の進歩によって、生物学の基礎知識は現代社会の基本的教養として欠くことのできないものとなった。大学の一般教育の講義として、生物個体のもつ基本的特性である「物質交代とエネルギー交代」、「恒常性と調節」、「連続性」の三つに、導入的意味で「生命の単位」、「生物の集団」および「生命の変遷」を加え、個体レベル以外の生命現象や生物と環境との関係についてとりあつかい、生物学全体を把握することを目的とする。 書名 教養の生物 著者名 太田 次郎 発行所 裳華房 価格 1,200円

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
生理学	全	丸橋	<p>生体諸系統の生理機能についての考察からはじめて、生体の発育、発達にふれる。又環境変化等による生体の対応、反応と生体機能の調節機構、防御反応等を取扱った上で、心理現象と生体反応との関係についてもふれたい。</p> <p>書名 生理学精粹 著者名 岡本 歌子、大柴 進 発行所 厚生閣</p>
統計学	全	城島	2年次開講
(総合分野) 総合科目			本年休講

外国語科目

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
英語			<p>英・米の作家、批評家の作品を演習形式によって学習させ、理解力を強化・充実させながら、併せて文学・語学の研究法、英米事情等にも触れる。</p> <p>家 井 芹 R. Freeman <u>East meets West</u> 朝日出版 ￥860</p> <p>(吉田) <u>Three British Authors</u> (Lawrence Joyce &amp; Conrad)</p> <p>金星堂 ￥680</p> <p>食 田 中 Saroyan <u>Saroyan's Memoirs</u> 文理 ￥550</p> <p>(十時) Peter Milward <u>Things Wist and</u> <u>Otherwise</u> 英潮社 ￥400</p> <p>国 田 中 <u>Soseki and Salinger</u> 英宝社 ￥880</p> <p>(本山) Jimmy Carter <u>Why not the Best</u> 英潮社 ￥650</p> <p>英 平 戸 J. Galsworthy <u>Short Stories of</u> <u>John Galsworthy</u> 南雲堂 ￥580</p> <p>(船倉) 井出弘之他編注 <u>Bowen, Lessing and</u> <u>Drabble</u> 文理 ￥600</p>
ドイツ語	全	元吉	<p>ドイツ語表現の基礎を、2年間にわたり、他の言語との比較、言語と思考と社会の諸関連についても関心を向けながら、独自の体系として有機的に把握し身につけることをめざす。</p> <p>そのために、第1年次においては、(1)文法上の基礎的な知識を習得する。(2)ドイツ語圏</p>

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
フランス語	全	古賀	<p>の文化、文学、風土の一端に触れる読章に接し、テープ、会話等により、生きたドイツ語表現に慣れ親しむ。</p> <p>各学科共通の辞書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「木村・相良・独和辞典」(博友社)又は</li> <li>○「現代独和辞典」(三修社)</li> <li>○「和独辞典」(郁文堂)又は</li> <li>○「コンサイス和独辞典」(三省堂)</li> </ul> <p>他の辞書を持っていればそれでもよい。</p> <p>書名 最重要基本1,000語によるドイツ語文法 初歩</p> <p>著者名 古賀 允洋、H. メール</p> <p>発行所 東洋出版</p> <p>価格 800円</p>
		上西川原	<p>書名 初級ドイツ文法</p> <p>著者名 稲本、立花</p> <p>発行所 芸林書房</p> <p>価格 700円</p>
		元吉	<p>書名 Deutsch 2000、1</p> <p>著者名 Roland Schäpers</p> <p>発行所 M, Hueber、郁文堂</p> <p>価格 1,600円</p>
	全	永目	<p>教養のフランス語は、第1年次と第2年次の2年間で話し言葉及び書き言葉の概略を修得するわけであるが、第1年次では週2回の演習のうち1回はテープを使用して主として、フランス語の会話によって正しい発音を身につけ、話し言葉としてのフランス語及びその背後にあるフランスの文明、風土の一端に接</p>

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
	家・食・国	笹原	<p>し1回は初級文法によって読解力の基礎を身につけ第2年次の作品講読に進むことになる。</p> <p>なお各学科共通の辞書類は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「新ふらんす語動詞の変化」第三書房 400円(全員購入すること)</li> <li>○「新和仏中辞典」白水社 1,500円(他の辞書があればそれでもよい)</li> <li>○「新和仏小辞典」白水社 1,500円(必ずしも購入する必要はない)</li> </ul> <p>書名 「アステイエ氏の生活と意見」</p> <p>著者名 中山 真彦・アンドレガルデラ</p> <p>発行所 白水社</p> <p>価格 900円</p> <p>(フランス語文法)</p> <p>島田・林田編「われらのフランス語」</p> <p>白水社 ¥800</p>
	英	有吉	<p>(フランス語文法)</p> <p>小林 正・渡辺 佑子</p> <p>「国語のフランス語」-文法と練習-</p> <p>朝日出版社 ¥840</p>



保健体育科目

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
体育理論	全	伊藤	<p>全人生を貫くプランの上に体力をつけ、維持し、衰えを防止する生涯体育の一環として乳幼児の運動能力の発達と、それに応ずる教育的、体育的「場」と「指導法」を主軸とした「体育的環境」を考える。学生自身の体力づくりと併行してこの「種を蒔き苗を育てる」世界にメスを入れてゆく。将来母として、指導的立場につく社会婦人としての教養を高めるうえから必須のものであると考えている。</p> <p>書名 「親と子の体力づくり」            著者名 伊藤 基記            発行所 東京 不味堂            価格 1,300円</p>

専門教育科目

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
(家政学科) 食物学概論	家	亀山	<p>人の成長と健康維持のための食物の重要性を認識させ、食品、栄養、調理等に関する基礎知識を与えると共に食生活への科学的態度を身につけさせることを目標とする。</p> <p>書名 新栄養学            著者名 宮本 梯次郎            発行所 (株)化学同人            価格</p>
育児学	家	上野	<p>育児の理念について日本の育児の歴史を回顧しつつ、現状を分析して講義をすゝめたい。特にこどもの特長、生理解剖学的特長、身体、精神発達過程、小児栄養の重要性等について述べ、小児の各時期における特長的疾患と看護の要点について講義する。</p> <p>書名 最新育児学            著者名 内藤 寿七郎編            発行所 同文書院            価格 1,300円程度</p>
被服学概論	家・食	矢上	<p>人間の衣生活における科学性を追求する学問が被服学である。被服の目的、機能より、材料学、構成学、衛生学および経営にいたる被服学の概括的知識を系統的に得ることを目的とする。また消費科学よりみた被服および被服の未来についてもふれたい。</p> <p>書名 被服学概論            著者名 橋本 貴美子、稲垣 和子</p>

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
児童学概論	家	園田	発行所 建帛社 価格 1.600円
(食物学科) 栄養学総論	食	友田	栄養学とは何か、そのなり立ちと歴史について述べ、更に現代の栄養学に基いて定められた栄養所要量についても述べて栄養学を学ぶための基礎とする。 書名 プリントによる。
応用微生物学	食	東矢	従来栄養士として食品の加工および取扱いに関係する事項に重点をおいた講義を行ってきたが、今回からは、微生物による代謝ならびにそれに関連する各種の発酵、微生物の生産する物質等について講義し、また近年注目された微生物毒素と食品、食中毒等についても合せ講義する。 たとえば、糖質の代謝、タンパク質の代謝、脂質の代謝、アルコール発酵、グリセリン発酵、乳酸発酵、微生物による芳香生産、かび毒、食中毒細菌などについて食物学科としての知識を得るように講義する。 書名 改訂応用微生物学 著者名 住ノ江 金之 発行所 建帛社
家政学原論	食	大坂	価格 家政学の研究対象である家族および家庭生活の原理を、講義する。

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
			書名 家政学原論 昭和50年6月20日 初版発行 著者名 野口 サキ 発行所 株式会社 朝倉書店 価格 1.300円
(国文学科) 国文学史(1)	国	一瀬	文学史を理解させることにより国文学研究の基礎を作るのが目的である。 書名 作品中心日本文学史 著者名 山岸 徳平編 発行所 新典社 価格 450円
書道	国	斉藤	国文学科においては、中学校の国語の免許状を得るためには、書道の単位が必要である。従って中学書写を教材として、前期には楷、行書、後期に仮名を中心として実技の指導に講義を交えて行なう。 書名 習字(1年、23年) 著者名 (井上桂園、斉藤鶴跡、久米東村) 発行所 中教出版会社 価格 1年(50円)23年(77円)
国文学作品研究(2)	国	本田	韻文字のうち、勅撰和歌集の特質を明らかにするのが目的である。 テキスト(別に定める)
(英文学科) 英作文(1)	英	富田	いきなり和文を英訳することは多くの場合不可能である。ひとまずそれを英語の考え方に置き換えてから、英文で表現する習慣を養

授業科目	学科	担当者	授業の内容と計画
英会和(1)	英	Rosen	<p>うことが大切である。英作(1)ではこの点を英作文の基本として、身近な題材により練習を進めることにしたい。</p> <p><u>Sekine &amp; Lehman An Approach to English Communication</u></p> <p>南雲堂 5680</p> <p>プリント使用</p>

諸手続書類一覽表

付 表		付 表	
項 目	所管課	項 目	所管課
届 願		父兄後援会費	会計課
受講カード	担当教員	証明手数料	〃
履修届	教務課	提出	
再試験	〃	保証書	教務課
休学	〃	戸籍抄本	〃
復学	〃	宣誓書	〃
退学	〃	学生身上カード	学生課
転(入・出)学	〃	就職斡旋カード	〃
教員免許状授与	〃	申込	
欠席届	〃	就職あっせん	学生課
公欠届	〃	アルバイトあっせん	〃
改姓届	〃	下宿等あっせん	〃
本籍変更届	〃	図書借覧表	図書館
学内団体結成届	学生課	交付	
学外団体集会参加届	〃	卒業見込み証明書	教務課
集会届	〃	卒業証明書	〃
住所変更届	〃	成績証明書	〃
紛失届	〃	単位取得証明書	〃
入寮願・退寮願	〃	在学証明書	〃
奨学生願書	〃	身分証明書	学生課
同証明願	〃	人物考査書	〃
授業料免除願	〃	進学証明書	〃
施設使用願	〃	旅客運賃割引証	〃
納入金		推薦書	〃
入学金	会計課	奨学受領書	〃
授業料	〃	アルバイト紹介状	〃
		図書借覧証	図書館